

地域デジタル映像アーカイブの教育活用に関する実践的研究

～その可能性と課題～

2018.3.10

デジタルアーカイブ学会第2回研究大会

於：東京大学

北村順生（立命館大学映像学部）



今日の発表内容

- 新潟大学地域映像アーカイブの概要
- 授業実践の紹介
- 地域デジタル映像アーカイブ活用の可能性と課題

にいがた地域映像アーカイブ の概要

地域映像アーカイブの概要

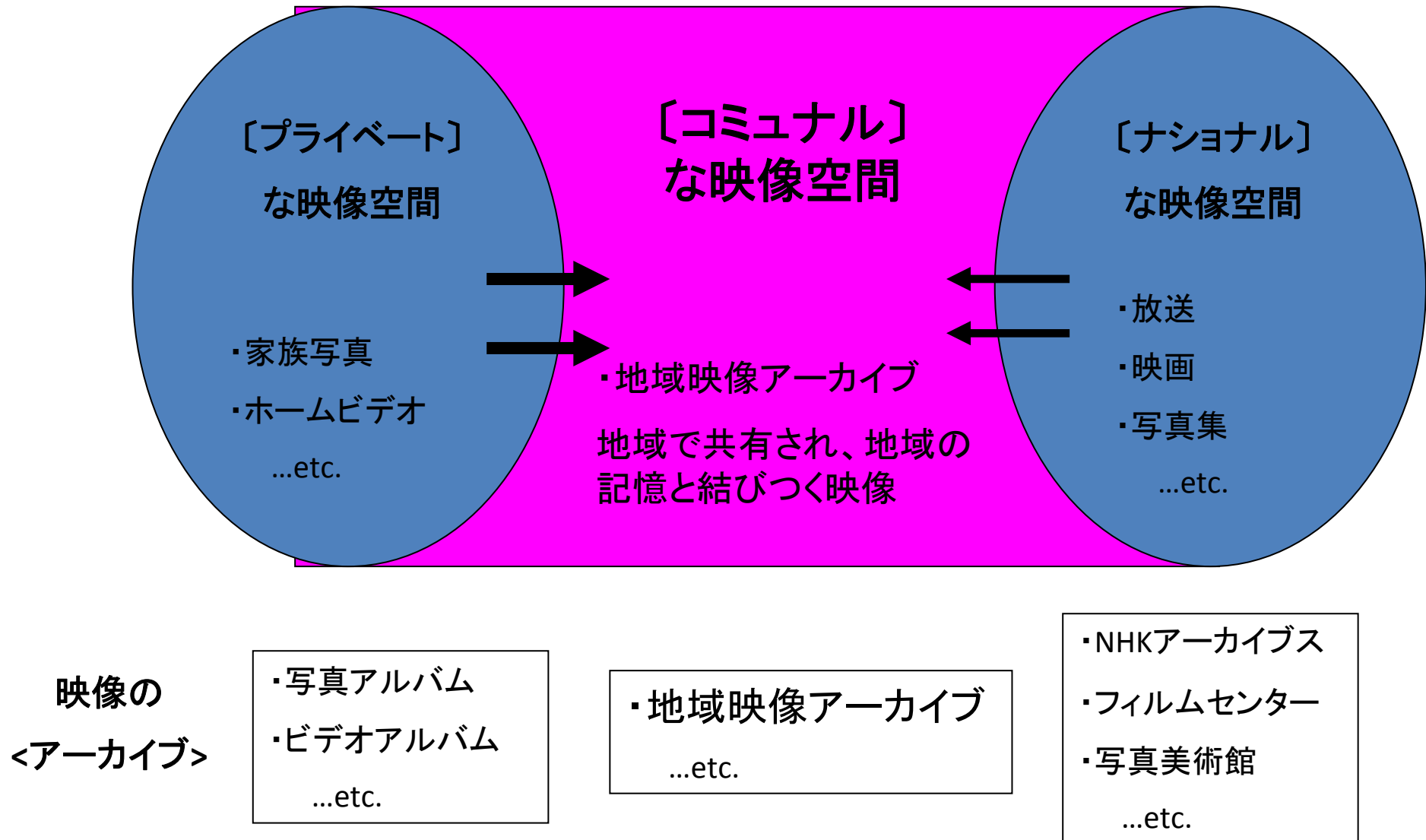
2008年度より開始

「にいがた地域映像アーカイブ」プロジェクト

- 新潟大学地域映像アーカイブセンター(代表:原田健一・人文学部教授)を中心に活動
- 新潟県内を中心に残された、写真や映画などの映像資料を発掘、収集、整理、保存、活用していく
- 映像アーカイブは、学内、教育研究目的で試験的に公開・運用
- 写真約3万点、動画約300本を公開済(2013年4月現在)



コミュニティな映像空間

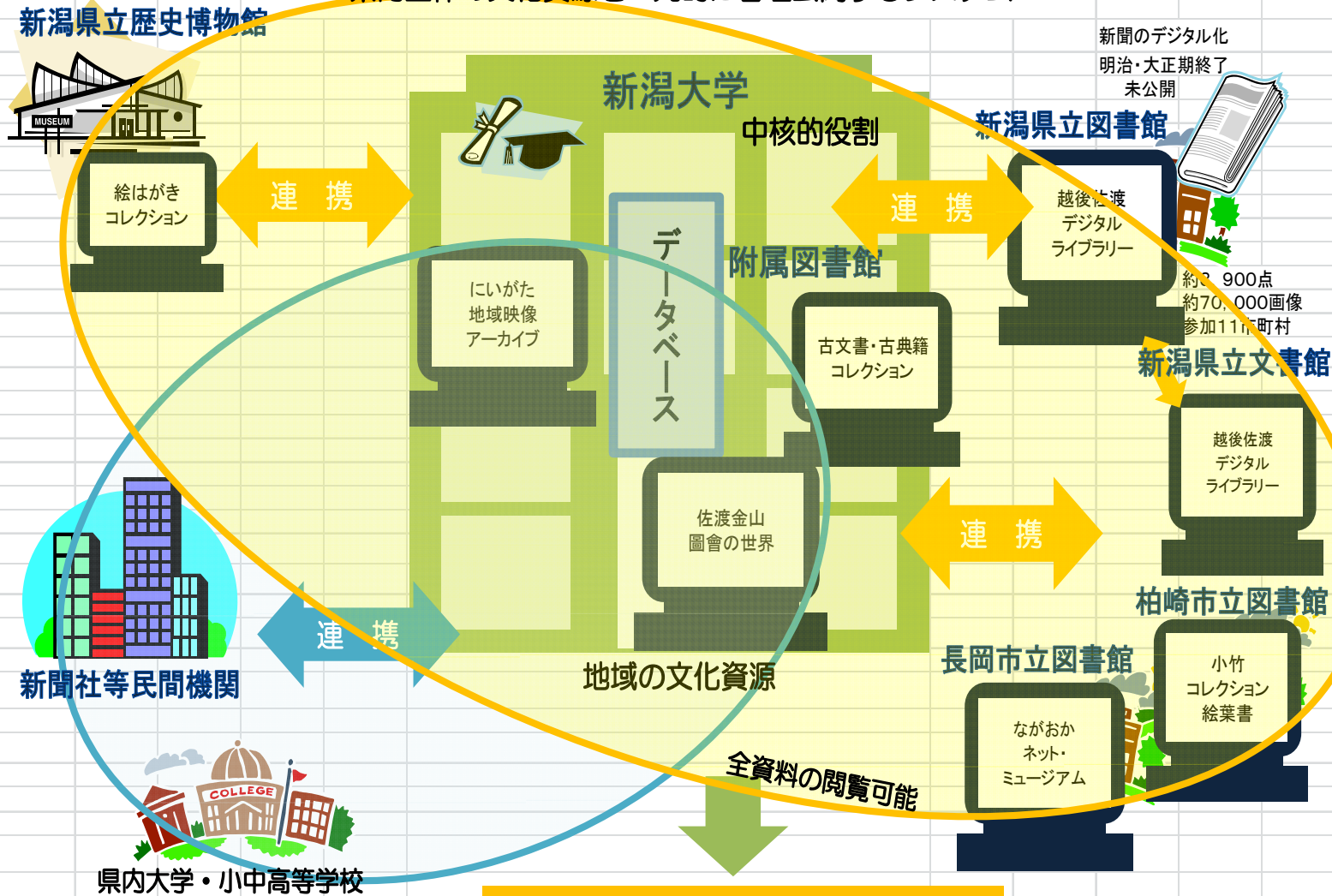


他機関との連携

- 地域内の連携 「MARUI連携」
 - 図書館・情報館（新潟県立図書館、新潟県生涯学習推進センター、十日町市情報館、南魚沼市図書館、など）
 - 美術館、博物館（新潟市美術館、北方文化博物館、など）
 - 教育現場（南魚沼市教育委員会、金山町教育委員会、など）
 - 地域メディア（新潟日報、新潟放送、など）
 - その他（写真館、老舗料亭：行形亭、日本舞踊家元：市山流、など） など・・・

にいがた MALUI連携・統合型データベース概念図

県内全体の文化資源を一元的に管理公開するシステム



研究・教育・まちづくり等への活用

作成:新潟県立図書館

新潟県立図書館との連携

- にいがたMALUI連携地域データベース
 - にいがた地域映像アーカイブデータベース
 - 新潟大学地域映像アーカイブセンター
 - 新潟県内の映像資料(写真、フィルム、ビデオ、etc.)
 - 郷土新聞画像データベース
 - 新潟県立図書館
 - 新潟新聞(現・新潟日報)のマイクロフィルム資料
 - 1877-1941年

地域映像アーカイブの狙い

◆映像アーカイブの構築

- － 地域の「過去」を語る映像の発掘、収集、調査、保存

地域の文化の保存

◆映像アーカイブの活用

- － 映像を公開・交流する場づくり／映像を用いた地域の活性化／新たな地域文化の再生産

地域の再生

地域映像アーカイブを活用した 授業実践

南魚沼市との連携事業

平成27年度文化庁

「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」

•3つの組織・団体の連携事業

- 南魚沼市
- 池田記念美術館(南魚沼市)
- 新潟大学人文学部

•2つの柱となる事業

- 「映像アーカイブを活用した官学民連携による魚沼の歴史文化普及事業」
 - 展示、講演会、シンポジウム等
- 「映像を通じた魚沼地域の歴史文化教育事業」
 - A)教員向けワークショップ
 - B)授業実践ワークショップ

A) 教員向けワークショップ

地域に残る映像資料の授業活用ワークショップ 「映像を用いた授業を考える」



地域に残る映像資料の授業活用ワークショップ
映像を用いた授業を考える

日時：2015年12月10日（木）14:00～16:30（受付13:30～）

会場：南魚沼市学習指導センター
新潟県南魚沼市横田 1182-4番地 2 南魚沼市大町庁舎

タブレット端末の導入など、近年、教室の情報環境が大きく変わりつつあります。そうした中で、写真やビデオなどの映像資料を授業資料として活用していくことは、今後ますます増えていくでしょう。では、実際に授業でどのように映像を活用していったらいいのでしょうか。疑問や不安を抱えている映像資料を授業に使いながら、映像を用いた授業について参加者相互に考えてみたいと思います。

■ミニ・レクチャー「映像資料を活用した授業の可能性と課題」

講師：佐藤幸江（金沢星稜大学人間科学部教授）

■ワークショップ「映像資料を活用した授業プラン作り」

講師：中川一史（新潟大学教育支援センター教授）

映像資料提供：新潟大学「地域映像アーカイブ」

参加申込：①氏名、②所属、③電話番号、④メールアドレス、⑤映像資料を活用したい教科や単元（付かる範囲で可）を明記の上、「南魚沼市学習指導センター」宛にお申し込みください。
e-mail: mgakusei@namiakuruma.ed.jp fax: 025-777-3721

申込締切：2015年11月20日（金）

※申込みが多数の場合は、参加者を振り分ける場合があります。あらかじめご了承ください。

主催：南魚沼市・新潟大学ミュージアム連携プロジェクト（南魚沼市・新潟大学人文学部・地域文化連携部）
企画・監修：佐々木光・新潟大学地域連携アーカイブセンター（担当：山形健二・新潟大学人文学部教授）
e-mail: kishimura@namiakuruma-u.ac.jp tel: 025-262-6225
平成27年度文化庁「地域の歴史と文化を伝える」推進事業

【日時】2015年12月10日（木）14:00～16:30

【会場】新潟県南魚沼市学習指導センター

【参加者】小学校教員14名

【プログラム】

○ミニ・レクチャー

「映像資料を活用した授業の可能性と課題」

（佐藤幸江・金沢星稜大学人間科学部教授）

○ワークショップ

- ・映像資料を活用した授業プラン作り
- ・グループ・ディスカッション
- ・全体プレゼンテーション
- ・総括コメント

（中川一史・放送大学教育支援センター教授）



B) 授業実践ワークショップ

■城内小学校

- 2015年11月25日(水)第3～4時限
- 6年生31名「総合的な学習の時間」

■塩沢小学校

- 2015年11月25日(水)第5～6時限
- 6年生58名「総合的な学習の時間」

■五十沢小学校

- 2015年12月2日(水)第3～4時限
- 6年生43名「総合的な学習の時間」

■北辰小学校

- 2015年12月7日(月)第3時限
- 6年生20名「総合的な学習の時間」

■三用小学校

- 2016年2月1日(月)第5時限
- 5年生13名「道徳」

可能性① 地域社会との連携

- 地域社会の教育力の活用が有効
 - 祖父母参観(城内小学校)
 - ゲスト・ティーチャー(北辰小学校)
- かつての地域の暮らしについて語る
 - 自宅でも祖父母と子どもたちの話題に



可能性② 子どもの関心や意欲を 引き出すきっかけ

- 教科
 - 「総合学習」との親和性が高い
 - 「社会」や「道徳」での活用も
 - 「国語」や「図工・美術」との高い
- 映像教材の特徴
 - 言語的な知識とは異なる、視覚的・直感的な理解
 - インパクトの大きさ
 - 対象に対する関心や意欲を喚起するきっかけとして有効



可能性③ メディア・リテラシー

- 従来の教育教材における映像資料
 - 教科書や副教材の中の写真
 - 少数の映像資料
 - 文章の補足説明
 - 映像資料の意味や価値、文脈はあらかじめ固定
- デジタル映像アーカイブにおける映像資料
 - 大量の「群」としての映像
 - 映像資料の意味や価値、文脈自体を発見
 - メディア・リテラシーとの関係

可能性④ デジタル教材

- タブレット端末の教材として有効
 - 背景に教室でのタブレット端末の普及
 - グループごとの協調学習



課題

- ① 技術・人材面での環境整備
 - － タブレット端末の普及
 - － 教員の技術的支援
- ② 授業デザインの設計
 - － 知識伝達型から課題発見・探索型の学びへの変換
 - － アクティブ・ラーニング、反転学習
- ③ 映像資料のパッケージ化
 - － 授業に適した映像資料の精選
 - － 教科、単元ごとの教材化